

鎮魂と復興のきずな

—東日本大震災と民俗芸能—



大船渡市の笹崎鹿踊

東日本大震災による大打撃の中、人々は早い時期から民俗芸能の復興に力を寄せ、期待をしてきました。それは死者と遺族の関係を正常化し、日常を取り戻すための心の復興でもあったのです。今回の府民講座では、東北に鹿の角を贈るプロジェクトを立ち上げ、伝統の継承に力を尽くされている林勲男さんに、民俗芸能が人々をつなぐきずなとして、震災からの復興に果たしている役割について、お話していただきます。

講師：林 勲男 さん（国立民族学博物館准教授）

場所：大阪府立中央図書館 ライティホール

日時：平成 26 年 3 月 1 日(土) 14 時 30 分～16 時

受講料：500 円

定員：380 人

関連資料展示：「歴史地震に学ぶ震災と復興展」
展示期間：平成 26 年 1 月 10 日～3 月 12 日
展示場所：当館 1 階 企画展示エリア